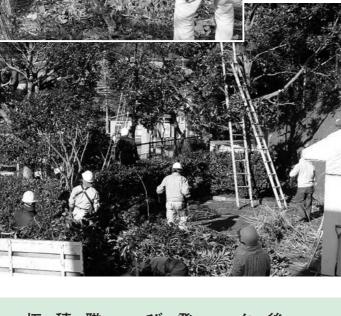
「齢者の皆さんに働く場を」

チの駆除など新規事業も 団塊世代の大量退職を控え、受け皿づくりを強化 ~葉山町生きがい事業団~



後を送っていただこうと、「葉山町生きがい事業団」がス タートして、今年四月で九年目を迎えます。 高齢者の皆さんに働く機会を提供し、元気で充実した老

びています。 発足当初に比べて大幅に増え、仕事の依頼件数も着実に伸 この間の地道な努力が実り、事業団への会員登録数は、

拓など意欲的な取り組みを進めていきます。 積極的に受け入れるため、PR活動の強化や新規事業の開 職が始まります。そこで、生きがい事業団では団塊世代を そうした中、これからは定年を迎えた団塊世代の大量退

歩み

葉山町生きがい事業団は、高齢者の 皆さんに、これまでの経験や知識が生 だき、併せて活力ある地域社会づくり かせる仕事を提供し、 て長い老後を生き生きと過ごしていた 働くことを通し

され、四月から業務を開始しました。 とを主な業務としています。 公共団体などから有償で仕事を引き受 に寄与する目的で、平成十一年に設立 生きがい事業団は、 、これを登録した会員に提供するこ 家庭や事業所、

払いは事業団を介して行われます。 女性三六人)が会員登録をしています %強に当たる二二四人(男性一八八人) 以上の人で、これまでに全対象者の二 には直接の雇用関係はなく、報酬の支 そのため、仕事の発注者と会員の間 会員になるには、町内に住む六○歳



事業団に寄せる関心と期待の高さがう ら、この八年間で約四倍に増えまし かがえます。 た。高齢者の皆さんが葉山町生きがい した当初の会員数は五〇数人でしたか (平成十八年十一月一日現在)。 発足

仕事の内容

けています。 て受注する仕事も毎年、 葉山町生きがい事業団が窓口になっ 順調に増え続

○件を超えました。 昨年、一年間で受注件数は一、 0

す。 占め、 を家庭や事業所など民間からの仕事が 団体でしたが、最近は受注金額の六割 は、仕事の依頼の多くは町などの公共 また、事業団の発足後しばらくの間 流れが大きく変わりつつありま

管理、 して、家の庭木や公園などの樹木の剪紫の仕事です。緑が豊かな土地柄を反映 定や伐採、さらには草刈りといった仕 での宛名書き)などさまざまです。 徒の登下校時の交通整理、筆耕(毛筆 その中でも、最も多いのが植栽関係 植木の手入れをはじめ、 方、事業団が受注する仕事の内容 障子の張替え、塗装、児童・生 駐車場の

また、 夏の海開きの会場設営、 海水

かり、刺される被害も出ています。

現在では生きがい事業



事もあります。 浴シーズン中の海岸近くの駐車場管理 海に恵まれた葉山ならではの仕

新規事業の開

駆除の仕事を始めました。 事業の開拓にも力を入れています。 多くの就業の場を提供するため、新規 活動が活発です。巣もあちこちで見つ に人に危害を及ぼす恐れのあるハチの その一つとして、本年度からは新た 最近は、町内でもスズメバチなどの 葉山町生きがい事業団では、会員に

> がハチの駆除作業に当たっています。 たが、昨年四月からは生きがい事業団 去などを依頼する形で行われてきまし を受け付け、さらに専門業者に巣の除 ンセンターが窓口となって駆除の要望 これまでハチの駆除は、 初年度は、ほぼ一年間で、 町のクリー スズメバ

り、葉山の試みは全国的にも大変珍し ない」(林勲重・事務局長)と話してお い事業団やシルバー人材センターで チ退治に大きな成果を上げました。 て一四〇件近い駆除の依頼があり、 チとアシナガバチとミツバチを合わせ 同事業団では「他の自治体の生きが ハチの駆除はあまり聞いたことが

団塊世代への対応

退職の時代が始まります。 団塊の世代が次々と定年を迎え、大量 これからは終戦後すぐに生まれた、

事業団では町の広報紙などによるPR めています。 など、さまざまな取り組みの準備を進 活動の強化や会員募集のチラシの配布 を積極的に受け入れるため、生きがい これに対応して、団塊世代の高齢者

今後の展開

この八年間で会員数を大幅に拡大 また会員の丁寧な仕事ぶりなどが



順調な歩みを続けてきました。評価されて、仕事の依頼も増えるなど

題も抱えています。

しかし、解決しなければいけない課

現状です。

と言えるでしょう。と言えるでしょう。と言えるでしょう。と言えるでしょうの仕事の開拓が急務事務系の仕事を得意とする会員が急増事務系の仕事を得意とする会員が急増

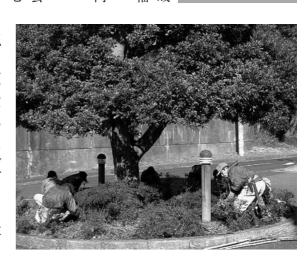
生きがい事業団が

葉山小学校前など町内三カ所で樹木さっぱり、町の美化に協力

(事等引がからに終付のかたなので、 三カ所で行われました。 一大に葉山小学校前の河川周辺の町内 でいた。 一大ででは、では、では、できれに、できれい。 一月二五日、福 でいた。 でいた。

人が参加しました。 員登録をしている高齢者の皆さん四七年一回開いているもので、この日は会事業団がPRと感謝の心を込めて、

使って、河川周辺のフェンスや樹木の幹動では、会員たちがチェーンソーなどを葉山小学校前の地域ボランティア活



ました。と切除しました。また桜の木に登り、と切除しました。また桜の木に登り、

関の八時半過ぎから正午近くまで、 (大採作業に汗を流したベテラン会員は (大採作業に汗を流したベテラン会員は 「危険な箇所もあったので気を遣った が、近所の人から『ありがとう、ご苦 が、近所のと感謝され、苦労も吹き飛び なった。地域美化のお役に立ててうれ しい」と感想を語っていました。

葉山町生きがい事業団の設立まで

日 付	内容
昭和61年10月	「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が施行
平成4年9月	葉山町では、社会福祉協議会で生きがい対策事業が始まる
平成10年9月1日	設立準備委員会立ち上げ
平成11年2月22日	設立総会
平成11年4月1日	事業団の事業運営開始

基本理念

与することを目的としている体であり、活力ある地域社会作りに寄体であり、活力ある地域社会作りに寄めと、高齢者が就業を通じて福祉の増

お八七七 − 一五五五

す。

(林勲重・事務局長)

業ができなくて、残念でした。今後も

作業を検討していきたいと考えていま